

固定的性別役割分担意識は変わってきたか？

～平成27年度「男女共同参画に関する市民意識調査」から～

女性の就業、特に配偶者のいる女性が仕事を持つかどうかを決めるときには、経済的な理由とともに、「男性は仕事、女性は家庭を中心にする」といった性別役割分担意識も影響するといわれています。国の成長戦略として掲げられた「女性の活躍促進」への取り組みが進む中、性別役割分担意識は変わってきたのでしょうか？

大阪市内在住の20歳以上の男女4,000人（外国籍住民を含む）を対象に、市民の男女共同参画に関する意識や実態を把握することにより、今後の男女共同参画施策の参考とすることを目的として「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました。

- 抽出方法：男女各2,000人を各区の住民基本台帳から人口・年代により層化無作為抽出
- 調査方法：郵送による配布・回収（郵送による督促状1回）
- 調査期間：平成27年8月21日～9月10日
- 回収数（回収率）：1150通（28.75%） *うち有効回答数（回収率）：1128通（28.20%）

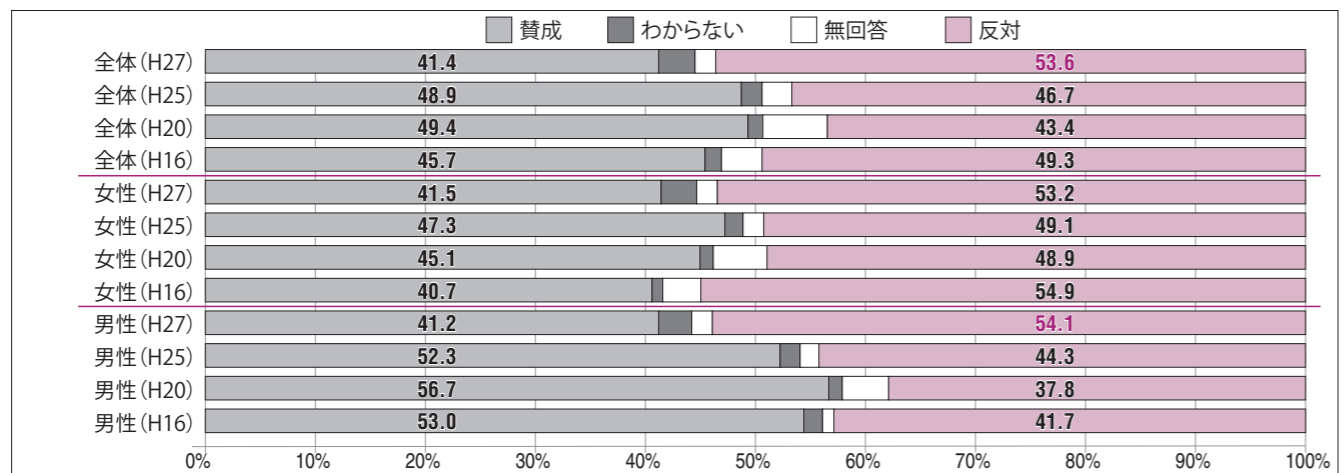
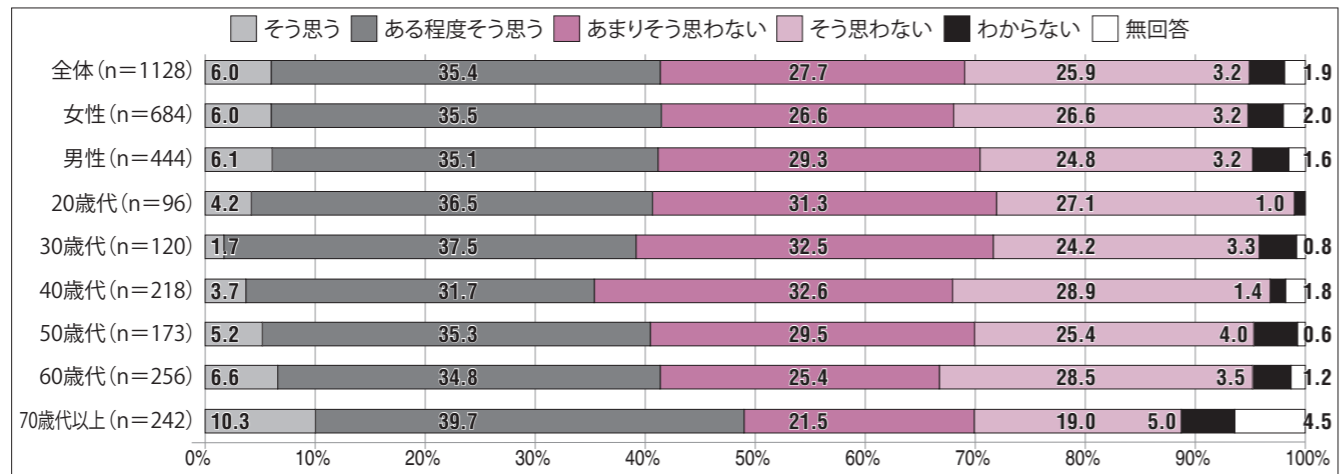
反対が過半数を超え、賛成と反対が逆転

「男性は仕事、女性は家庭を中心にする」という考え方についてきいてみたところ、全体で見ると、「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した反対の方が53.6%、「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した賛成の方が、41.4%、「わからない」が3.2%、「無回答」が1.9%でした。女性は、反対が53.2%、賛成が41.5%、男性は、反対が54.1%、賛成が41.2%となっており、全体でも、性別で見ても反対が過半数を超えました。

また、経年で比較すると、女性は、賛成より反対が多い傾向が続いていますが、全体と男性では、平成27年度に賛成と反対が逆転し、全体的に反対の割合が大きくなってきています。

年代で見ると、20歳代から60歳代は、賛成より反対の割合が多く、70歳代以上では、賛成が反対より多くなっています。特に40歳代では、反対が61.5%、賛成が35.4%と26ポイントの差がありました。

問. あなたは「男性は仕事、女性は家庭を中心にする」という考え方についてどう思うか？



賛成の理由

「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した方に、賛成する理由をきいたところ、男女ともに、「女性が家を守ったほうが、子どもの成長などにとって良いと思うから」が最も多く、「家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けるのは大変だと思うから」が続いています。次いで、女性は、「男性が外で働いた方が収入を得られると思うから」、男性は「日本の伝統的な家族の在り方だと思うから」と続いています。

	1位	2位	3位
女性 (n=284)	58.5% 女性が家を守ったほうが、子どもの成長などにとって良いと思うから	56.0% 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けるのは大変だと思うから	37.7% 男性が外で働いた方が収入を得られると思うから
男性 (n=183)	67.8% 女性が家を守ったほうが、子どもの成長などにとって良いと思うから	52.5% 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けるのは大変だと思うから	29.5% 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから

反対の理由

「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した方に、反対する理由をきいたところ、男女ともに、「固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから」が最も多く、「男性も女性も働いた方が多くの収入が得られると思うから」、「女性が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから」と続いています。

	1位	2位	3位
女性 (n=364)	67.3% 固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから	42.9% 男性も女性も働いた方が多くの収入が得られると思うから	39.6% 女性が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
男性 (n=240)	58.8% 固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから	44.2% 男性も女性も働いた方が多くの収入が得られると思うから	38.3% 女性が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから

平成25年度までの調査から今回の調査で賛成と反対が逆転した男性の性別役割分担に対する意識変化は、男性自身が変わってきたことも一因だと考えられますが、男性の反対の理由として「男性も女性も働いた方が多くの収入が得られると思うから」が、女性よりも高い割合となっていることもあり、男性自身の雇用環境の悪化の影響も一因となっていることが考えられます。

今回の調査からは、男女共に過半数以上が固定的な性別役割分担意識に反対だと思っていること、男性が女性よりも反対の割合がわずかに高いことなどにより、特に、男性の性別役割分担に対する意識が変化していることがわかりました。今回の調査結果の詳細は、平成28年3月にクレオ大阪のホームページにて報告する予定です。

大阪市 女性活躍促進事業

わたし発進プロジェクト ネットワーキングフォーラム

2月20日(土) 14:00～17:30 (共催:大阪イノベーションハブ)


トークライブ 「女性が輝き活躍するためのセルフプロデュース術」

大阪で「女性起業家」として活躍する株式会社Terrace代表取締役の森田祥子さんをゲストに招き、人と人がつながりあうことで活動の場を拡げることの価値や、自分自身のプロデュースの仕方についてお話いただきます。

- 第1部 14:00～14:30 アイデアコンテスト授賞式
- 第2部 14:30～15:45 トークライブ
- 第3部 16:00～17:30 交流会

トークライブ後、アイデア賞受賞者や、トークライブのゲスト、参加者による交流会を行います。

●講師 森田祥子
(株式会社Terrace代表取締役)
2008年全国商工会議所女性会連合会第7回女性起業家大賞スタートアップ部門優秀賞受賞。2009年大阪市きらめき企業賞受賞。



- 会場 大阪イノベーションハブ (〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワーC 7階)
- 参加料 無料。交流会のみ有料。
- 定員 60名(申込先着順)
- 申込方法 電話かFAXにて、名前、住所、連絡先(電話番号とFAX番号)をお知らせください。

申込み・問合せ先 (一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会 電話06-7656-9040 FAX06-7656-9045
<http://danjo.osaka.jp>